

主要教科 [生活]

図書コード・書 名		734	一生つかえる！おまもりルールえほん ぼうさい		603	こうつうあんぜん どうするの？	
発 行 者・著 者		学研	監修：山村武彦		金の星社	監修：国崎信江 絵：せべまさゆき	
判型・ページ数・価格		18×21cm	56ページ	1,540円	27×23cm	32ページ	1,540円
採 択 基 準	基 本 観 点						
1 学習指導要領に 示す目標に沿い、 その内容を適切に 取り上げているこ と。	(1) 教科の目標達成 に必要な内容	災害が起こる前の準備や災害が起き たときの行動のルールについて、具 体的に知ることができる。			物語を読みながら、交通ルールを学 んだり、道路での危険な場所や行為を 具体的に知ったりすることができる。		
2 内容の程度が、 児童生徒の発達段 階に適応している こと。	(1) 発達段階のめ やす(注1)	B・C 段階			A・B 段階		
	(2) 障害の状態、 発達段階及び特性 などへの配慮	絵が見やすく、災害時にその行動を とるべき理由が簡潔に説明されてい る。			絵が見やすい。子どもたちの日常に 起こりそうなことや身近なことが分か りやすく描かれている。		
3 内容の選択及び 扱いが、学習指導 を進める上で適切 であること。	(1) 生活経験や興味 ・関心への配慮	避難訓練等の安全や防災に関わる学 習活動を通して、興味・関心を高める ことができる。			道路を渡るときや自転車に乗ると き、車に乗るときなど、子どもたちの 日常生活場面が取り入れられており、 興味・関心を高めることができる。		
	(2) 主体性や創造性 思考力、判断力、 表現力等の育成	災害前の準備や災害が起きたときの 行動についての知識を学び、考えるこ とができる。			自分の日常生活と照らし合わせて、 正しい行動について考えることができ る。		
4 内容の構成・配 列・分量が、学習 指導を有効に進め る上で適切である こと。	(1) 系統性・発展性	避難訓練に加え、大雨や雷などの天 気と関連させて、自分の身を守る行動 を学ぶことができる。			交通安全教室や校外学習など関連 付けることにより、交通ルールを守る ことの大切さにつなげることができ る。		
	(2) 全体の分量	15の準備ルール、20の行動ルールに まとめられ、多くの内容が含まれてい る。			道路を渡る際の注意点や自転車の安 全な乗り方など、多くの内容が含まれ ている。		
5 表記・表現が正 確かつ適切である こと。	(1) 文字、文章、 挿絵	すべての漢字にルビが振られてい る。			文字が大きくて読みやすい。ひらが なとカタカナのみで表記されている。		
	(2) 図表、写真等 の資料	巻末の保護者用のページに図表が使 用されている。			巻末の保護者用のページに図表が使 用されている。		
6 体裁や造本が適 切であること。	(1) 色使い、ページ レイアウトなど	多色刷りである。			多色刷りである。		
	(2) 文字の大きさ、 字間、行間	見出しは大きめの太字で表記されて いる。本文の文字も太字である。			見出しは大きめのカラーで表記され ている。本文の文字も大きめである。		
	(3) 用紙、製本、 表紙	製本はしっかりしている。表紙は ハードカバーである。			製本はしっかりしている。表紙は ハードカバーである。		
備 考 (発 行 年)		(R 4)			(H29)		

主要教科 [生活]

図書コード・書 名		604	じしん・つなみ どうするの？		549	挨拶絵本	
発 行 者・著 者		金の星社	監修：国崎信江 絵：せべまさゆき		ブロンズ新	五味 太郎	
判型・ページ数・価格		27×23cm	32ページ	1,540円	23×24.5cm	31ページ	1,540円
採 択 基 準	基 本 観 点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	物語を読みながら、地震がきたら町がどうなるのか、家や外、店にいるときにはどのような行動をとればよいのかを知ることができる。			社会生活における人間関係を育てる上で大切な「あいさつ」について取り上げ、表情、身振り、動作など言葉以外のやりとりにも意識を向けることができる。 関連教科（国語、道徳）		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A・B 段階			(B)・C・D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	地震のあとには火事や津波等が起こることもあると挿絵で分かりやすく伝えている。			イラストによる視覚的な状況把握に重点を置いている。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、興味・関心を高めることができる。			イラストから状況を想像することを通して、相手の表情や態度、動作に現れる気持ちに関心を持つことができる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	自分の日常生活と照らし合わせて、地震が起きたとき、いる場所によって身を守る方法が変わることを考えることができる。			日常生活では遭遇し得ない場面が散りばめられており、想像を広げることを楽しみながら取り組むことができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	避難訓練と関連付けることにより、自分の身を守る行動を学ぶことができる。			日常生活で出会った場面や状況を言葉にしたり、相手の表情や動作等の様子から気持ちを想像したりすることにつなげることができる。		
	(2) 全体の分量	多くの内容が含まれている。			場面が細かく区切られている。年間を通して使用することができる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	文字が大きくて読みやすい。ひらがなとカタカナのみで表記されている。			すべての漢字にルビが振られている。読む人に対して話しかけるような文面で書かれている。		
	(2) 図表、写真等の資料	巻末の保護者用のページに図表が使用されている。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	多色刷りである。			1 ページに1 場面の配置になっており、枠取りがあって分かりやすい。ページ表記が左右の端中央に記載されている。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	見出しは大きめのカラーで表記されている。本文の文字も大きめである。			文字の大きさは16～20ポイントで、説明の文章の行間は5 mm程度である。		
	(3) 用紙、製本、表紙	製本はしっかりしている。表紙はハードカバーである。			製本はしっかりしている。紙質は良い。		
備 考 (発 行 年)		(R 4)			(H22)		

主要教科 [生活]

図書コード・書 名		583	いのちを守る地震・防災の本1 じしんのえほん		501	はれるんのぼうさい教室	
発 行 者・著 者		ポプラ	国崎 信江		東京堂出版	監修：日本気象予報士会	
判型・ページ数・価格		25.5×22cm	32ページ	1,320円	21×15cm	160ページ	1,980円
採 択 基 準	基 本 観 点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	災害時、特に「地震」発生時に自分で安全な体勢をとるなど、適切な行動ができるよう、事前に様々な場面を想定して考えることができる。		クイズ形式の学習を通じて、自然災害や異常気象の際に適切な行動をとるための知識を身に付けることができる。			
		関連教科（社会）					
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	B・C 段階		D 段階			
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	絵本の物語に沿って、場面がイラストで分かりやすく示されている。一問一答形式で、考える視点が示されている。		とるべき行動の理由をクイズの答えや解説の部分において、イラストと文章で丁寧に説明している。			
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	学校以外の場面で地震に遭遇する可能性があることを想像することができる。		防災の知識をクイズ形式で学ぶことができるため、子どもの興味・関心を高めることができる。			
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	適切な行動の必要性を理解した上で、教師など大人が近くにいない場面で、自分で考え判断して行動しなければならないことを意識することができる。		熱中症、雷、大雨などについても説明されており、自分の生活と照らし合わせて、とるべき行動を考えることができる。			
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	学校で実施される避難訓練や地域で実施される防災訓練につなげることができる。火災や不審者対応等の場面に発展させることができる。		避難訓練はもちろんのこと、天気（大雨や雷）と関連させて、自分の身を守る行動を学ぶことができる。			
	(2) 全体の分量	全部で6 場面の設定で構成されている。年間を通して使用することができる。		多くの内容が含まれている。			
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	子どもが読むことが想定されている文章はすべてひらがなとカタカナで書かれている。		イラストが多く読みやすい。すべての漢字にルビが振られている。			
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		図表が使用されている。			
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	見開き1 ページで地震前の状況説明と考える視点が示され、次の見開き1 ページで地震後の状況説明と答えが示されている。		多色刷りである。1 ページに問題（クイズ）、次ページに答えと解説がまとめられている。			
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	文字の大きさは14ポイントである。		大切な事柄については大きめの文字を使用している。行間も適度に空いていて見やすい。			
	(3) 用紙、製本、表紙	製本はしっかりしている。紙質は良い。		製本はしっかりしている。表紙は柔らかいソフトカバーである。			
備 考 (発 行 年)		(R 4)		(R 6)			